

令和4年度 第2回東員町総合計画効果検証委員会 主な意見

日時：令和4年11月11日（金）午後2時～

場所：西庁舎2階 201会議室

事項

1 あいさつ

- 2 ・第2期東員町まち・ひと・しごと創成総合戦略効果検証について
・令和4年度地方創生推進交付金採択事業について

3 意見交換

2 令和4年度からの東員町総合計画効果検証委員会について等を説明

- ・第2期東員町まち・ひと・しごと創成総合戦略効果検証について
【資料1、2、2-1、4】
・第6次東員町総合計画効果検証について
【資料3、5、6】

3 意見交換

座長	委員の皆さんから意見をいただきたい。事項3の第2期東員町まち・ひと・しごと創成総合戦略効果検証についてなにか質問や意見があれば。
座長	有効求人倍率は総合戦略策定時の数値から現在の数値までの推移はどのように分析しているのか。
委員	求人は多いという印象はあるが求職者が仕事を選んでいる状態である。 また企業によっても人が全く足りないという業種もあれば、求人を出す状態ではないという企業もある。いろいろなところでミスマッチがある。 依然として有効求人倍率は低いかもしれないが戦略策定時の時から見るとよくここまで回復したな。という印象。
座長	企業件数も目標値を大幅に達成しているがどのように分析しているか。
委員	創業セミナーを実施したが10名の参加があった。女性の起業が目立ち、若い方が団地でお店を構えることも多かった。新しい起業はまちの活性化につながる。 一方、良い物件がなく近隣市で起業されたというケースもある。
委員	総合学力調査（IRT）のD層の割合を減らしていこうという目標だが増加している。原因としてなにが考えられるか。

事務局	断定的なことは言えないが、問題の内容や対象となる受験者も変化しているのでその要因も考えられる。 相対的貧困も要因の1つになっているのではないかと。就学援助の支援数も増えてきている。
委員	若い方の起業が増えているという件で市民活動の方も活発になっている。ここでも活動場所についての問題が発生しておりどうやって支援していけば良いのか相談はしているが解決には至っていない。
座長	行政の建物を利用しようと思うとなかなか簡単ではない。地域では空き家が存在している。空き家のリノベーションなども容易ではないがここを上手くつなげられると解決の糸口が見つかる可能性はあるのではないかと。
委員	スポーツの分野では町内に陸上競技場がある。公式記録となる大会ではなかったが、県外の方も出場していた。東員町は高速道路のインターチェンジも整備されアクセスしやすい。こういったメリットを生かすためにも施設の適切な整備は重要である。
座長	続いて、第6次東員町総合計画効果検証についての事項のうち、資料3について、何か意見や不明な点があれば。
委員	資料3の中にある発信資源の弱さはあるが、文化事業などもあり十分資源はあると思うがどのように考えているのか。
事務局	発信資源は十分にあるので今ある資源の磨き上げをしていくための事業となっている。
委員	資料6にあるマメマチプロジェクトの認知度が低いがどのように取り組んでいくのか。
事務局	現状は認知度が低いことは把握している。これから認知度を上げていく取り組みを行っていく。
委員	Bリーグの試合がこれから出来るようになると思うが入場者は十分に入るのか。改修が必要なのか。
事務局	改修は行わず、体育館全体を使用しパイプ椅子などを並べることで入場者の対応を行う。 またこのバスケットゴールの整備は東員町の体育館の利用目的で最も多いのがバスケットボールであり東員町の子どもたちも多く利用している。この子どもたちにプロのバスケットを見てもらうことを目的としている。
座長	来年度は今回行った総合戦略の効果検証に加え、地方創生推進交付金のK P Iに対する効果検証もこの懇談会の内容に加わってくる。

以上